

## 第 15 回 北陸支部秋季研究発表会「優秀ポスター賞」受賞について

北陸支部秋季研究発表会ポスター発表の一層の活性化、若い世代のポスター発表者の研究活動の奨励を目的に、日本セラミックス協会北陸支部は「優秀ポスター賞」を設けました。平成 23 年 11 月 25 日（金）に開催された第 15 回日本セラミックス協会北陸支部秋季研究発表会のポスター発表を、北陸支部常議員で厳正に審査し選考した結果、下記の方に「優秀ポスター賞」を授与することになりました。

記

### 清水 信孝氏（福井大学大学院工学研究科）

P2「塩添加噴霧熱分解法によるチタン酸バリウムナノ粒子の合成および誘電特性」

$\text{KNO}_3$  および  $\text{NaNO}_3$  をフラックスとして利用した塩添加噴霧熱分解法によりチタン酸バリウムナノ粒子の合成を試み、乾燥炉温度及び熱分解温度が生成粒子の形態および粒径にどのような影響を与えるかを検討した。



### 中村 友一 氏（富山高等専門学校）

P10「Flashing 法による  $\text{SrTiO}_3$  球状・球殻状粒子の合成と形成機構解明」

ペロブスカイト結晶の一種であるチタン酸ストロンチウムを **Flashing** 法で合成したところ、球状や球殻状粒子が得られた。本研究ではその形状や表面構造の差異に関する観察結果を報告し、形成機構の提唱を行う。



### 槻川原 遼氏（北陸先端科学技術大学院大学）

P17「形状制御した白金ナノ結晶上への異種金属の析出」

Pt(II) および Pt(IV) の白金前駆体の混合比を変化させることで、形状選択性やサイズを制御したプリズム型白金ナノ結晶を調製した。こうして得たプリズム型白金ナノ結晶上へ銀やパラジウムを簡便に析出させることを明らかにした。

